

問 ホッケーの取り組みを問う

答 ホッケーのまち東海村の実現を目指す



新政とうかい
かわさき かつひこ 議員

問 子どもたちが容易に、かつ安全にホッケー競技に親しむ環境整備の進捗状況は。

答 70周年記念事業として、プラスチック製のスティックとボールを使用する室内ホッケーの用具（ネオホッケー）を購入し、小中学校での使用に向けて、安全対策を含めたプログラムの研究を重ねてきた。また、子どもたちが日常的にホッケーに親しむことができる仕組みを小中学校と協議を進めている。

問 ホッケーフェスティバルの取り組みは、広く村民がホッ



小学校でのネオホッケー体験

ケー競技の魅力を感じられるスポーツイベントを開催する。また、このイベントを契機に、改めてホッケーのまちの推進に努めるとともに、ホッケー関係団体の一層の連携強化も目指す。

問 ホッケーに対する村長の想いは。

答 ホッケーとともに歩んできた東海村の歴史と、次の世代にホッケーを継承することの重要性を改めて認識している。ホッケータウンの認定を通じて全国発信も目指している。

問 幼保・小学校の避難方法の周知は

答 普段から意識付けを行う



新政とうかい
みかみ おさむ 議員

問 子どもたちと保護者に対し、自分たちの居場所と避難場所の位置関係をいかに周知しているか。

答 保護者には入園・入所時に配布する施設のしおりや、年度当初のお便りで避難場所を周知している。また、子どもたちに対して、避難場所までの避難訓練を年1回実施して、避難方法や避難経路を確認している。

小学校は、避難所や避難場所として指定されており、避難場所へ向かう訓練は実施していない。なお、村松



近隣市の小学校付近の標高表示

小学校は土砂災害や水害時に高台へ避難ルートを設定しており、年1回避難訓練を実施している。

問 幼稚園・保育所および小学校の周囲に標高を示す標識を設置、自分たちや保護者が居る場所、避難経路の位置関係が容易にわかるようにすべきでは。

答 幼稚園と保育所は入口等の敷地内、小学校は職員玄関や昇降口などに海拔の表示を設置している。日頃から災害時に備え、標高をはじめ施設の状況を理解することは大切、普段から意識付けを行う。